進捗報告（有限会社 SHIPMAN）

● 提　出　日　：　2022 年　10 月　6 日（１０月１８日　再送）
● 事　業　名　：　障がい児等の体験格差解消事業
● 資金分配団体　：公益財団法人　ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
● 実 行 団 体　：有限会社 SHIPMAN

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
特別支援学校および発達支援級の児童・生徒が、水辺/海洋活動の自然体験に参加できる状態となる。	① 水辺の自然体験に参加した対象となる子どもの数 ② 水辺/海洋活動の自然体験に協力したサポートの人数 ③ 活動に参加した対象者及び保護者の満足度	① 地域全体で 150 人（初期値から 1.5 倍） ② 地域全体で 60 人（初期値から 1.5 倍） ③ 満足度調査比較	２０２２年１２月１日	①コロナが落ち着いてきて、地域全体で 150 人を超えている（２３０人）。受付のやり方が昨年度から変更になり、発達学級や生活保護家庭などの、助成金対象者がより明確になり昨年度より正確な人数が分かるようになった。 ②昨年から１人増え、実数は６人となった。延べは 200 人を超えるが、実数を増やせるように今後も研修などを行って増やしていきたい。 ③対象者及び保護者への満足度調査については、B&G さんにもらったアンケート調査を依頼したが、学校単位で参加することが多いためなかなか回答を	1

				もらうことが難しかった。 そのため独自アンケートを行った。 ※独自アンケートでは、視覚障害特別支援学校の児童がハンザヨットの体験を行ったので教員から次のコメントをいただいた。「児童が自分の手足でヨットを確かめながら、一人で乗船したことで達成感が持てた。また自分でヨットを操船したことで、より風や揺れを感じたようで楽しさが増していたようだ。	
団体指導者等が水辺/海洋活動の自然体験について、その有効性を認識している状態となる。	団体指導者の満足度	満足度調査比較（数値化による確認）満足度90%以上を目指す。目標と課題の抽出。	２０２２年１２月１日	独自アンケートにより、満足度調査比較90%以上を達成した。 ※目標（団体の活動達成）と課題（活動時のヒヤリハットや、安全対策）については、アンケートから抽出した。	1
支援を必要とする子どもの保護者等が、水辺/海洋活動の自然体験について、その有効性を認識している状態となる。	保護者の満足度	満足度調査比較	２０２２年１２月１日	保護者への満足度調査については、B&Gさんにもらったアンケート調査を依頼したが、学校単位で参加することが多いためなかなか回答をもらうことが難しかった。 学校として来場しているため、保護者の随行はなく、独自アンケートも取れなかった。	3
学校や団体等が、水辺/海洋活動等の自然体験に連携・協力・支援する状態となり、継続的に活動できる状態となる。	①利用団体等の数	①地域全体で 12団体	２０２２年１２月１日	地域全体で１２団体以上を達成した。（2022 年度は学校・団体で57団体） おれんぢ教室･ボーイスカウト浜松１９団･放課後デイサービススカーラりーど・NPO法人ルリアン・三ヶ日ボッチャなど	1

当団体と連携協力団体とのネットワークが深まり、様々な情報交換が行われる。	① 利用団体間や連携協力団体と定期的なコミュニケーションがある団体の数 ② 地域の連携協力団体等と協議する会議や訓練、研修等の回数	① 当団体で協力団体数を設定(5 団体に設定) ② 当団体で回数を設定(5 回に設定)	２０２２年１２月１日	① 5 団体 セイラビリティ伊勢に加え、不登校児童の受け入れ先である団体（おれんぢ教室）と連携し、ボーイスカウト浜松 19 団（カブ隊）,磐田クリークサウンドさん、浜松市教育委員会（校長会で活動 PR の場を提供いただける）など 5 団体とのパイプを太くしていきたい。 ②コロナで大会など が中止となり、研修に参加できる機会が少なかった。11 月にハンザ大会研修へ参加予定。	
新型コロナウイルス感染症対策を講じたことにより、特別支援学校等が過去にない方法で安全に水辺及び陸上の自然体験に参加できる状態となる。	①最新の器材・設備の導入及び活用し、さらに三密対策等の安全対策を講じた水辺及び陸上の事業が実施できている状態	①新型コロナウイルス感染症安全対策を踏まえ、初期状態からマニュアル内容を活動団体指導者と共有し、指導者にも役割分担を明確化しいっしょに取り組んでいただく。6 回目以降通常活動時はすべて。	２０２２年１２月１日	新型コロナウイルス感染症安全対策のためのマニュアルを作成し、活動団体と共有することができた。また、コロナ対策のための器材を購入し三密を避けた活動の実施を行った。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2　おおむね達成の見込み▼
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑ 変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
従来は、どこの団体が助成金対象団体かわからなかったので、団体に調査をして助成金対象か調べていたが、今年度から減免制度が変わり、1．生活保護を受けている家庭　2．障害者手帳を持っている人、または特別支援学級に在籍している人が分かるようになったので、各団体に調査せずとも対象団体かどうか分かるようになった。そのため、昨年度は調査した団体の人数、団体数だけしか把握していなかったが、今年度は人数や団体数がより正確に把握できた。昨年度から変わった点としては、新たに不登校児童(おれんじ教室)、生徒を対象とした団体と連携し、水辺の体験をしてもらうことができた。

③ 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑ イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2.広報制作物等 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）